

# 長 生



平成27年 8 月 号

## 目 次

会長の言葉	日本長生医学会会長 柴田政宏	
孟蘭盆会		1
宗 教 編		
法 話	得勝寺 本莊一治	2
医 学 編		
痛みをどうとらえるか	総本山長生寺 管長 日本長生医学会 会長 柴田政宏	4
随 想 編		
恩師・堀内清晴先生を想う	京都府 西田光宏	6
恩師を偲ぶ	東京都 小野寺秋夫	8
日本長生医学会北海道連合 第56回夏季研究会を終えて		
	北長連 会長 大平宏一	11
	北長連 副会長 市村慎二	11
案 内		
三支部合同医学会案内		13
報 告		
第22回 長生ゴルフ大会報告	福利厚生部	14
平成27年度 事業部役員		15
孟蘭盆会 冥加金		15
支部報告		16
計 報		17
治療室備品紹介		17
学園便り		18

日本長生医学会

## 会長の言葉

総本山長生寺管長  
日本長生医学会会長 柴田政宏

夏本番を迎え、酷暑となっておりますが、御身体あつての治療師ですのでご自愛いただく様お願い申し上げます。

7月12日総本山長生寺において盂蘭盆会の御供養が厳修されました。長生上人から真実の教えを受け継がれた先達の方々は、生涯を霊肉救済にと、長生一筋に奉仕の精神を貫き通され、また、大勢の後輩を育てられました。その生き様は、見事と感嘆するばかりです。

私共「長生道」を歩む者は、このような先達の方々を見習いながら、これから歩もうとする後の人々の為にも、世代を超えて長生医学の発展の為に努力していかなければなりません。

親鸞聖人の教えに次のお言葉があります。

前に生まれん者は後を導き、後に生まれん者は前を訪え

「教行信証」

道を究める事はよく山登りに例えられます。一步ずつ前に進むには、辛さ、苦しさが身に纏ってまいります、頂上に立った時の視野の広がり、清々しい気分はこれまでの努力の賜物であり、達成した者しか得られない物なのです。

しかし、足元に有る山そのものを見る事はできません。山そのものの雄大さを感じるには山から離れて見る事が必要なのです。

同じ様に私共がこの世間からどの様に見られているかは、中々感じることはできませんが、世間からどの様に見られるかは、先生方一人ひとりの生き様で評価されているのです。ですから私共「長生道」を歩む者は、時代の変化、医療技術の進歩の中で、立ち止まる事は許されません。必ず患者さんの主訴に耳を傾け、的確な診断を行い、患者さんと共に疾病に立ち向かう事を忘れてはなりません。

疾病のみを考えて参りますと、患者さんをおろそかにしてしまいます。常に患者さんと共に治療に当たる必要性があるのです。

合掌